



みどりの地球をみどりのままで、子どもたちへ

vol.293 10月号
2025年10月20日発行

グリーンたいむ



発行:グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>

2025年8月8日(金)から11日(月)にかけての豪雨により 被災されました皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます

九州の広範囲で線状降水帯が相次いで発生しました。特に熊本県においては、8月11日、玉名市や八代市、天草市など7つの市町に大雨の特別警報が相次ぎ、大規模な浸水被害や土砂災害などが発生しました。深夜からの豪雨で、不安な夜を過ごされた方もおられると思います。

1日も早く安心できる生活が戻りますよう、行政などと連携し、グリーンコープだからできる支援を行って参ります。「人と人とのつながり」「助け合い」を大切に、1歩ずつ共に歩んで参りましょう。

グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

組合員から拠出いただいた熊本地震復興支援募金を活用して
熊本地震災害支援センターを中心に、以下のような被災地支援
を行っています。



▲玉名市大雨被害の様子。境川周辺は被害が大きく、川から近く低いところにある国道沿いのホームセンター・ディーラー・スーパー・100円ショップ・建材屋は、総出で作業を行っていました。(8/13)

▲八代郡氷川町災害ボランティアセンターへ、飲料水2ℓ入りペットボトル30ケースをお届けしました。(8/16)



▲宇城・美里地区の組合員宅の泥かき支援。職員とワーカーズ計13人が参加。倉庫に流れ込んだ土砂を攫い、土砂が堆積しているところにブルーシートを被せ、土嚢で固定しました。被災された組合員の方は、「被災したことがショックで身体がついていかないところ、皆さんが駆けつけてくださって大変助かりました」と感謝されていました。(8/23)

▲八代市役所ロビーで被災された方を対象のバザーを開催。リサイクル衣料品を中心にしてすべて100円で販売。掃除用タオルの無料配布も喜ばれ、「次はいつ開催するの?」と聞かれる方もおられました。(9/20)

も
く
じ

1:「令和7年8月豪雨」災害支援報告 / 2:東・西地域本部のページ / 3:組合員活動報告のページ / 4:共生・平和銀輪隊 / 5:福祉活動組合員基金前期助成団体決定 / 6:冬のおりもの / 7:わたしとグリーンコープ、こんにちは!ワーカーズです、2027カーボンニュートラル / 8:グリーンズパートナー紹介、グリーンコープでんき関連、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより

グリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

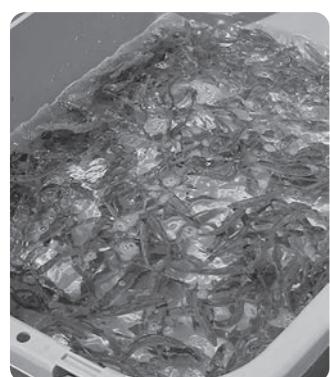
山国川へ地元の小学生と、稚鮎を放流

5月14日(水)に、山国川へ稚鮎の放流に行ってきました。

これは、びん牛乳工場建設を進める中で出会った山国川漁業協同組合と共に、この豊かな自然を守りたいと願い実施されたものです。

山国川漁協は河川清掃を行い、鮎などの放流も行っています。

グリーンコープはこれまで、せっけんを使うことで、河川を汚さない、河川を守る取り組みをしてきました。建設計画当初からびん牛乳工場の裏を流れ、地元の方たちが川の環境を守り続け、愛されている山国川の自然を守ることは考えて進められてきました。



当日、びん牛乳工場には、地元の中津市立三郷小学校と中津市立下郷小学校の児童の皆さんと、グリーンコープ関係者が集まり、一緒に山国川へ向かいました。

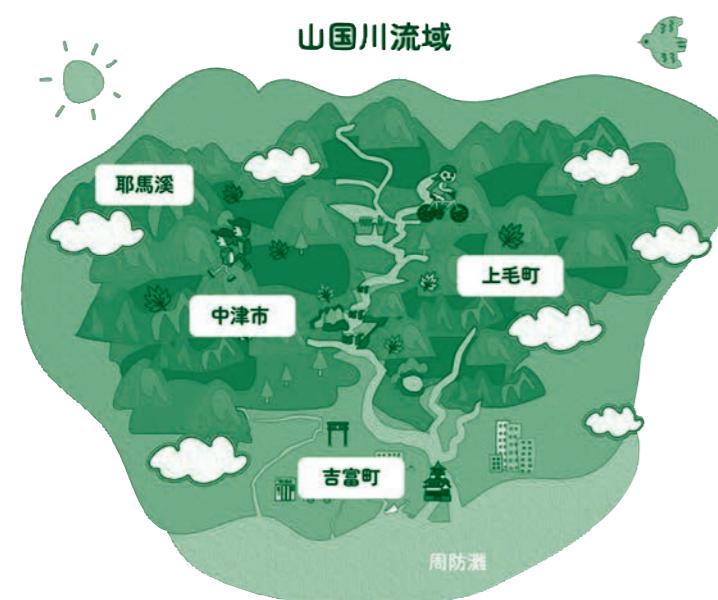
山国川漁協の方から、稚鮎の放流の仕方を教えていただきました。バケツに稚鮎を入れていただき、やさしく川の中に流していきます。

山国川はとてもきれいな川で、放流された稚鮎が元気に泳いでいく姿を目で追うことができました。

漁協の方からは、「皆さんもこの山国川の自然を守っていきましょう」と語られました。

地元の子どもたちが、自分たちの地域の自然に愛着を持ち、守っていく素敵な取り組みに参加させていただき、貴重な経験をしました。

放流の後には、山国川で獲られた鮎の塩焼きを、子どもたちといただきました。子どもたちに、びん牛乳工場で出来立ての牛乳を試飲してもらうと、「わあー、美味しい!!」「いつもの牛乳と違う」という声があちこちから聞こえてきました。



▲ <https://milk.greencoop.or.jp/saveyamakunigawa/>
「山国川の豊かな自然を守る取り組み」より



※放流の様子がInstagram
「グリーンコープ広報部」(左の
二次元コード)より、ご覧いた
だけます。



7月26日(土)東部センターにて
「東地域本部ファミリーDAY」を開催しました!



▶ワーカーズ常勤会と一緒に開催しました。



▶モツァレラチーズ作りも大好評!!



▶家族連れで賑わいました♪

東地域本部で活動やお仕事をしている組合員・ワーカーズ・職員とその家族が集い、親睦を深めるとともに、グリーンコープの商品のことや活動について知つてもらう機会になればと思い、開催しました。当日は100人ほどが集まり、普段は見る機会のない大きな冷蔵庫や冷凍庫の見学、メーカーの方との交流や、モツァレラチーズ作り体験などを楽しみました。

これからも東地域本部に集う人たちが交流できる機会を作つていけたらと思います。

ぜひ、皆さんも一緒に、東地域本部で組合員活動やお仕事などやってみませんか?

お待ちしています!!

地域理事長 株元 知子

7月17日(木)
於: 宇城市不知火
防災拠点センター



「バーライトの鉄フライパン

「極 KIWAME」の虜になりました



商品おすすめ委員会で、鉄フライパン「極 KIWAME」の学習会を開催しました。(11人参加)
鉄のフライパンと聞くと、「焦げ付く」「重い」「手入れが大変」などのマイナスイメージがあると思います。

鉄のフライパンは安心で鉄分も取れ、きちんと手入れすれば半永久的に使えることを学びました。
「極」の良さは、熱伝導性が良く、へら絞り加工により軽量化、窒化加工により手入れが簡単です。
初回1回の「油ならし」と使用前の「油返し」、使った後はお湯で洗って水分を拭き取るだけという手入れ法で、使えば使うほど油がなじんでいき、育てていくことができます。

今回の学習会では、「ハンバーグ」「生餃子」「卵焼き」を調理しました。簡単さと美味しさに、皆さん鉄フライパンの虜になられた様子でした。

一生使える鉄フライパン「極」を育ててみませんか!!

商品おすすめ委員会 おすすめ委員長 柴田 裕子

わたしとグリーンコープ

「グリーンコープのハムが教えてくれたこと」

北部地域委員会
こうし地区運営委員会
副委員長
橋口 敦子

娘が小学校の社会科見学で福留ハムへ行つた際、試食のハムを持ち帰ってきた。そのハムはあまりにも我が家との見た目が異なりその場では食べられなかつたようだつた。

その後、私も子育てサークルで福留ハムを視察することができ、グリーンコープのハムは朝一番のラインで製造してくださつていると知つた。

2年後、娘は調理実習にグリーンコープのハムを持ち寄つたが、同じ班の子から薄汚い色のハムと言われ「無塩せき」で言うとバイ、知らんと?とみんなに教えてくれ、それが班の班が見た目も味も異なる同じ料理を味わい、平和に実習を終えたと聞いた。

それから10年が経ち、私たちが買ふハムは今もグリーンコープ一択だ。

こんにちは！ ワーカーズです

26年前、絵本の魅力にはまり、「ペペペラン」の一員となつて、絵本専門店やおはなし会、絵本の繪本を読んであげた時の子どもたちの反応が楽しく、感受性の豊かさに驚きます。絵本は、その時の自分の年齢、環境で感じ方が随分違つて、親子の愛着関係を築いてもらいたいと思つています。

他の、絵本作家の講演会、子育て支援ワーカーズ「ペペペラン」の活動をしてきました。

事業運営は大変ですが、自分たちがやりたいこと、必要だと思うことを企画立案し、責任をもつて実施してきました。そのことが大きな喜びと自信になり、ここまで続けることができたと思っています。

「ペペペラン」の一員となつて、絵本専門店やおはなし会、絵本の繪本を読んであげた時の子どもたちの反応が楽しく、感受性の豊かさに驚きます。絵本は、その時の自分の年齢、環境で感じ方が随分違つて、親子の愛着関係を築いてもらいたいと思つています。

他の、絵本作家の講演会、子育て支援ワーカーズ「ペペペラン」の活動をしてきました。

事業運営は大変ですが、自分たちがやりたいこと、必要だと思うことを企画立案し、責任をもつて実施してきました。そのことが大きな喜びと自信になり、ここまで続けることができたと思っています。

子育て支援ワーカーズ
ペペペラン



坂田 弘子

2027カーボンニュートラル

グリーンコープ生協くまもと 東地域本部の進捗状況

東地域本部の東部センター・北部センターでは、2025年度中に東部センターでEVトラックが19台、EV軽バンが10台、北部センターでEVトラックが21台、EV軽バンが10台、導入予定となっています。東部センター阿蘇地区については、26年度の導入を予定しています。

2027カーボンニュートラルに向けて、「カーボンニュートラル1%拠出」の取り組みも、センターと組合員が一丸となって推進することができました。

ウォークスルーのトラックに、担当者も興味津々で、導入を心待ちにしています。導入はもう少し先ですが、多方面との打ち合わせを重ね、着々と準備が進んでいます。イベントでもカーボンニュートラルを打ち出し、積極的に取り組んでいます。

東地域本部 東部センター長 宮崎 大志



身体への負担が少ない
ウォークスルータイプ



2025年 冬のおくりもの

「冬のおくりもの申込書」での受付期間は2週間★

- 32号：10月20日(月)～10月24日(金)
- 33号：10月27日(月)～10月31日(金)

グリーンコープのおくりものは、カタログGREENの商品同様、組合員が検討・確認したこだわりの商品♡

例えば、被災地支援のギフトを贈って社会貢献も叶います。

お好きな産地のお米を選び、お届けできるのも嬉しいポイント。

買って生産者に応援の気持ちをお届け、受け取った大切な方の笑顔が浮かび、贈って幸せな気持ちになれる…、みんなが喜ぶギフトはいかがでしょうか？

厳しい基準を
クリアした
安心をお届け

Web注文
OK!

嬉しい
送料込み価格♪

不必要的食品添加物は
極力使いません

残留放射能
検査済



Web取扱期間：10月13日(月)～11月23日(日)
店舗取扱期間：10月19日(日)～11月24日(月)

くまもとの理事おすすめギフト



仲良く寄り添うように大小の白玉団子が入った「夫婦善哉」。ふっくら炊いた北海小豆のやさしい甘さに、もちもち食感の白玉がよく合い、一口ごとにほつと一息つけます。香ばしい煎り玄米を添えると、風味が広がつて味わいもさらに豊かに♪

個包装だから贈られた方も好きな時に楽しめて、自分へのご褒美にもぴったりです！



寒い季節に、心も体もあたたまるやさしさを贈りませんか？

東地域本部
商品おすすめ活動委員長(商品検討) 浦田 梢



濃厚な豚骨スープで餃子をじっくり煮込むことで、スープの味が餃子に染み込むだけでなく、餃子の旨味がスープに染み出し、絶妙なハーモニーが生まれる炊き餃子。餃子の皮はもちもちプリンプリンで食べ応えあり。白菜やネギ、ニラなどお好きな野菜を加えてセットのスープで煮込むだけ簡単に作れます。餃子の餡は産直豚なのも美味しいポイント。締めは煮込んで伸びにくくコシのあるちゃんぽん麺で、最後までスープとのハーモニーを楽しめます。博多発祥の炊き餃子が全国どこでも食べられます。ぜひ、この冬のおくりものにセレクトしてみてください。

西地域本部
商品おすすめ委員会商品委員長 熊谷 美治



